

令和 7 年度  
「運営に関する計画」



大阪市立高見小学校  
令和 7 年 4 月

大阪市立高見小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(総括シート)

1 学校運営の中期目標

現状と課題

○学力については、「全国学力・学習状況調査」や「学力経年調査」の結果から、年々向上していることがわかる。生活指導面においても、全体的に落ち着きがみられる。しかし、不登校や遅刻については増加傾向にあり、外部機関との連携や家庭への啓発が重要である。

・令和6年度の学校生活アンケートにおいて、「自分にはよいところがありますか」の項目について、肯定的な回答が82.9%、「学校へ行くのは楽しいですか」の項目について、肯定的な回答が89.2%と中期目標を上回っている。しかし、「学校のきまりを守っていますか」の項目については、肯定的な回答が92.5%と中期目標を下回っている。このことから、規範意識の向上を目指し取り組みを進める必要がある。

・令和6年度の「全国学力・学習状況調査」では、国語・算数ともに大阪市平均を上回った。また、「学力経年調査」においても、4年生以外で大阪市平均を上回った。

・令和6年度の「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」の結果、体力合計点が男子49.28、女子53.76で男女ともに中期目標を下回っている。

・学習者用端末を活用した取り組みについては、中期目標を達成していない項目がいくつかある。端末の持ち帰りについては、家庭環境等も課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

○令和7年度末に小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を90%以上にする。

○令和7年度末に学校生活アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。

○令和7年度末に学校生活アンケートにおける「自分にはよいところがありますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を77%以上にする

○令和7年度末に学校生活アンケートにおける「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を85%以上にする。

○令和7年度末に学校生活アンケートにおける「先生や友だち、近所の人にあいさつをしていますか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を90%以上にする。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

○令和7年度末に全国学力・学習状況調査の正答率について、大阪市平均を上回る。

○令和7年度末に小学校学力経年調査の正答率について、大阪市平均を上回る。

○令和7年度末に全国体力・運動習慣等における体力合計点を男女ともに54.0点以上にする。

○令和7年度末に小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を85%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 令和7年度末に授業日において学習者用端末を使用する割合を100%にする。
- 学習者用端末を活用した家庭学習を週1回実施する。
- 令和7年度末に学校生活アンケートにおける「学習者用端末を使った学習は楽しいですか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を95%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%、15日以上取得する教職員の割合を90%以上にする。
- 「学校園における働き方改革推進プラン」における教員の勤務時間の上限に関する基準を満たす教職員の割合を100%にする。

## 2 中期目標の達成に向けた年度目標

**【安全・安心な教育の推進】**

- 小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。
- 小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。

**【未来を切り拓く学力・体力の向上】**

- 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度のポイントを維持または向上させる。
- 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を66%以上にする。

**【学びを支える教育環境の充実】**

- 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の62%以上にする。
- 年次有給休暇を10日以上取得する教職員の割合を100%にする。

## 3 本年度の自己評価結果の総括

--

(様式2)

## 大阪市立高見小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価(目標別シート)

評価基準	A: 目標を上回って達成した	B: 目標どおりに達成した
	C: 取り組んだが目標を達成できなかった	D: ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<b>【最重要目標1 安全・安心な教育の推進】</b> ○小学校学力経年調査における「学校のきまりを守っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を88%以上にする。(前年度数値:87%) ○小学校学力経年調査における「自分には、よいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を82%以上にする。(前年度数値75%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
取組内容①【 <b>基本的な方向1、安全・安心な教育環境の実現</b> 】 ・児童理解全体会を設定し、情報を収集・共有し、「問題行動・いじめ・不登校」等、諸問題の解決に向けて全教職員が組織的に取り組む。 ・「学校生活の約束」を教室に掲示する。保護者にも配付し、教職員と児童、保護者が共通理解のもと一貫した生活指導を行う。	
指標 ・学校アンケートにおける「学校のきまりを守っていますか。」に対して、肯定的に回答する児童の割合を93%以上にする。(前年度92.5%) ・学期に1回以上、「学校生活の約束」を学校全体で確認する場を設ける。	
取組内容②【 <b>基本的な方向2、豊かな心の育成</b> 】 ・人権教育年間計画を作成し、互いの違いを理解し、認め合う児童集団の育成に努める。 ・「運動会」や「学習発表会」等の学校行事を通して、児童が達成感や成就感を味わうことができるように取り組む。 ・たてわり班、登校班、クラブ活動、委員会活動等の活動を通して、異学年交流や児童と教職員との関わり深める。	
指標 ・学校生活アンケートで「学校へ行くのは楽しいと思いますか」の項目について肯定的に回答する児童の割合を90%以上にする。(前年度目標:89% 結果89.2%) ・年間計画をもとに、全学級で人権教育の実践を行う。 ・「運動会」や「学習発表会」などの学校行事では、委員会や代表委員会の児童が中心となって運営し、全児童がめあてをもって主体的に取り組むことができるようにする。 ・児童が自ら学校運営に関わることができるよう代表委員会を月に1時間設定する。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

## 大阪市立高見小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p><b>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</b></p> <p>○ 小学校学力経年調査における、算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.1 ポイント以上向上させる。</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」と回答する児童の割合を 66%以上にする。(前年度目標：74% 結果 65.3%)</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容① <b>【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</b></p> <p>・主体的・対話的で深い学びを実現する授業力を身につけることをめざして全体での研究授業・研究協議会に取り組む。</p>	
<p>指標</p> <p>・年間 6 回以上の全体での研究授業・研究協議会を行う。</p> <p>・学校生活アンケート「算数の授業はよくわかりますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。(前年度目標：設定なし)</p>	
<p>取組内容② <b>【基本的な方向 5 健やかな体の育成】</b></p> <p>・児童の体力保持増進のため、体育授業、体育的行事の充実を図る。</p> <p>・各学年の内容に応じた「体育がんばりカード」を作成し、活用を図る。また、がんばりを評価し、フィードバックするように工夫していく。</p>	
<p>指標</p> <p>・学期に 1 回以上、「運動会」「なわとび週間」「かけ足週間」など、全校での体育的活動を実施する。</p> <p>・学校生活アンケート「体を動かすことは楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上にする。(前年度目標:94% 結果:93.9%)</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	

(様式 2)

## 大阪市立高見小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<b>【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】</b> ○授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 62% 以上にする。(前年度目標 : 50% 結果 61.5%) ○年次有給休暇を 10 日以上取得する教職員の割合を 100% にする。 (前年度目標 : 100% 結果 100%)	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を図る指標	進捗 状況
取組内容① <b>【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</b> ・朝学習などで学習者用端末を毎日活用する。 ・計画的に学習者用端末を持ち帰り、家庭学習に取り組む。	
指標 ・学校アンケートにおける「学習者用端末を活用した学習にすすんで取り組むことができましたか」に対して、肯定的な回答をする児童の割合を 95% 以上にする。 (前年度目標 : 90% 結果 94.9%) ・全学年、1 日 1 回学習者用端末を活用する。 ・朝の「学習タイム」の活用や「心の天気」の入力を積極的に行う。 ・3・4 年生は 2 週間に 1 回、5・6 年生は 1 週間に 1 回以上学習者用端末を持ち帰り、家庭学習に取り組む。	
取組内容② <b>【基本的な方向 6 教育 DX (デジタルトランスフォーメーション) の推進】</b> ・教員の ICT 活用指導力の向上を図るための研修を実施する。 ・ICT を効果的に活用した授業を計画・実施する。	
指標 ・年間で 5 回以上、校内での ICT 研修を実施する。 ・教員は年間 1 回以上、ICT を効果的に活用した授業の計画・実施を行う。	
取組内容③ <b>【基本的な方向 7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】</b> ・昨年度に引き続き、学校閉庁日を設定し、教職員の年次有給休暇取得を推進する。	
指標 ・専科教員による授業、学年内での交換授業を行う。 ・校務分掌部会を開き、行事などで協業体制を進める。	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
次年度への改善点	